

アセスメントの方法①

～ 具体的なアセスメントの方法～

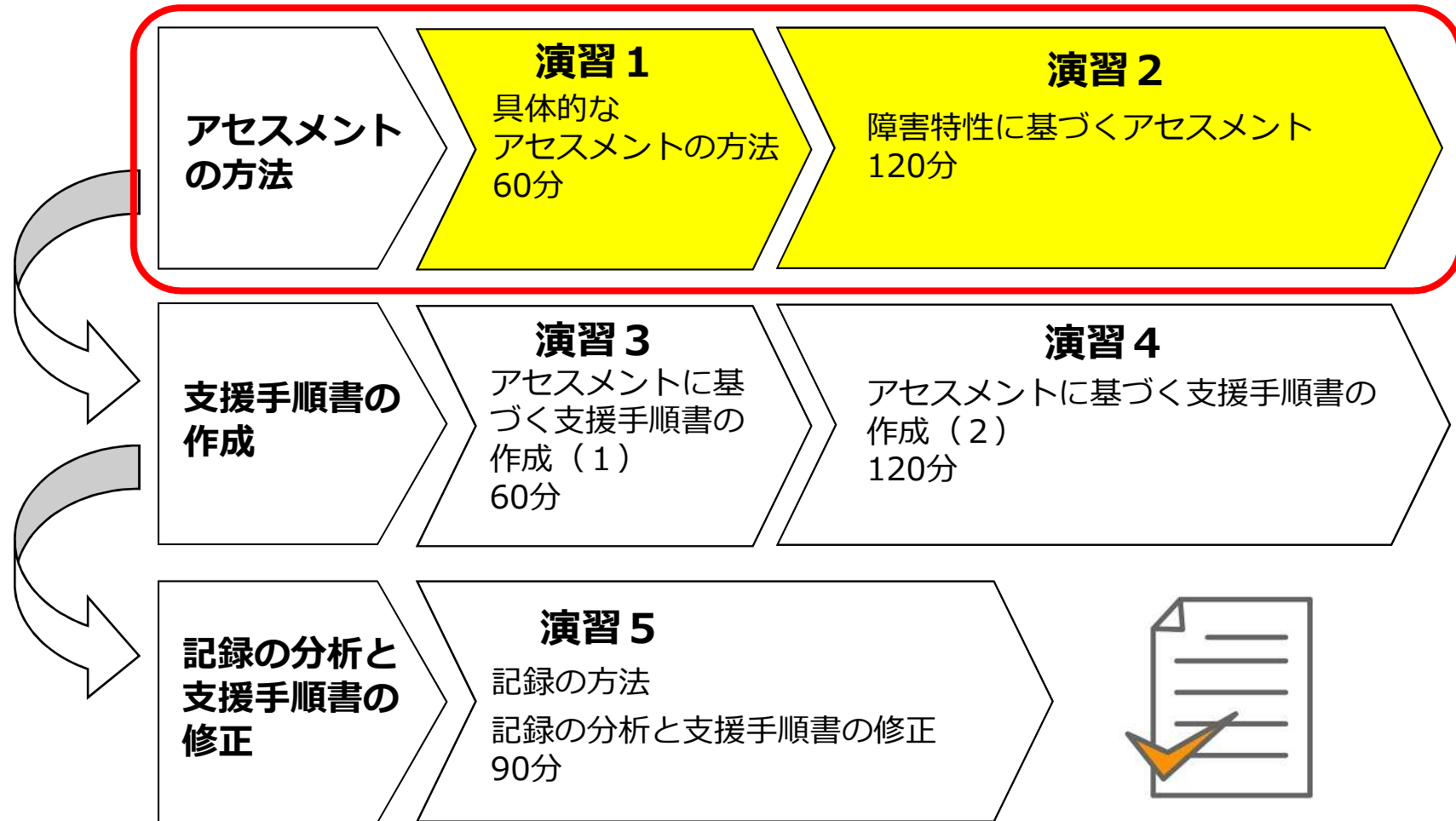
和歌山県発達障害者支援センター **ポリス**
相談支援員 堀川 律子



この時間で学ぶこと

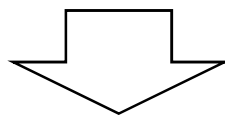
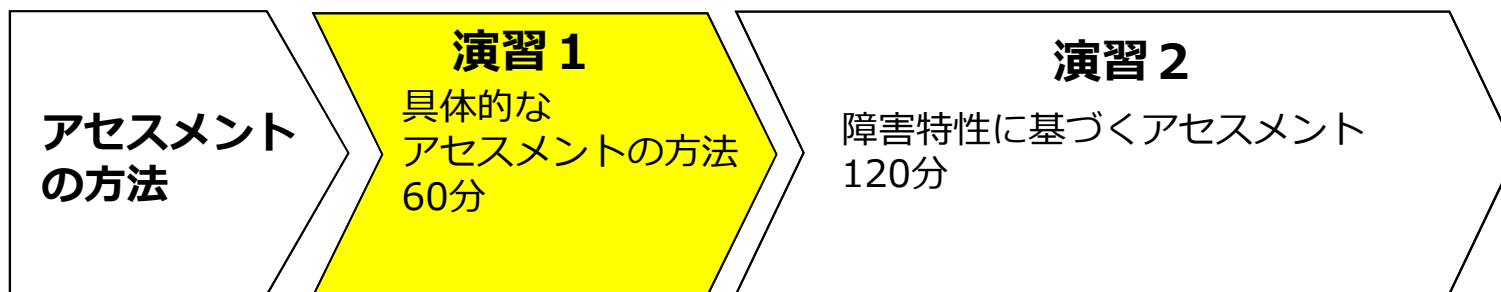
- これまで行動障害が現れやすい人たちへの支援においては、
「障害特性に合わせた支援が必要であること」
「支援者が統一した支援をすること」
が大切であることを確認してきました。
- この時間では、支援者が統一した支援を実施するために必要な、障害特性に合わせた支援手順書を作成するための根拠となるアセスメントの方法について学びます。

演習の流れ



アセスメントの方法

- ・ 具体的なアセスメントの方法



- i) アセスメントについて
- ii) 事例の紹介
- iii) 本人の行動を確認する

i) アセスメントについて

アセスメント

- ・ アセスメントとは？
「評価」や「実態把握」
- ・ 基本的なアセスメント情報
「医学的な診断」「障害支援区分」「療育手帳」など

実際の支援には、
支援の内容に直結
する詳しい情報が
必要

「フォーマルなアセスメント」
・ 知能検査、発達検査など標準化
された検査

「インフォーマルなアセスメント」
・ 日常の観察やインタビューによっ
て得られる情報

行動チェックシート

本人の行動を観察して具体的な行動を書き込むシート

本人の障害特性に基づく行動に着目することができたり、課題となる行動を絞り込むことができる

行動チェックシート

差込資料②

		例	✓	本人の具体的な行動	
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない			
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い			
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する			
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない			
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない			
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する			
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない			
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする			
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）			
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす			
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない			
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない			
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない			
		セ: やりとりが続かない			
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある			
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている			
		チ: 自分から動くことができない			
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い			
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い			
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い			
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない			
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある			
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない			
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある			
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある			
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある			
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある			
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある			
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある			
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある			

特性確認シート

本人の行動について、その背景となる特性を確認するためのシート

必ずしも「課題となっている行動」だけでなく、本人の行動から隠れている特性を整理することができる

特性に対応する支援のアイデアも確認することができる

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』			
	背景となる特性	支援のアイデア	
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	A) 汲み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
		6) 見えないものの理解が難しい	
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える(方法の視点・やりとりの視点)
		8) 一度にたくさんのかを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	D) 本人が理解できる見える情報(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)で伝える(やりとりの視点・見え方の視点)
		11) どのようにして伝えたいかわからない	
		12) 誰に伝えていいかわからない	
やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	E) 本人が発信しやすいツールを(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)提供する(やりとりの視点・見え方の視点)	
	14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい		
	15) やりとりの量が多いと処理が難しい		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むのが難しい	F) 視覚的なツールでやりとりができるようにする(やりとりの視点・見え方の視点)
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える(時間の視点)
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする(時間の視点・場所の視点)	
	23) 細部が気になり違いに敏感		
	24) 少しの違いで大きな不安を感じる		
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする(方法の視点)
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	
J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする(方法の視点)	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする(場所の視点)	L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する(場所の視点)	

環境確認シート

本人の特性と合っていない
環境を確認するためのシート

支援する人や、さまざまな刺激・情報など見落としがちな
環境の項目を振り返ることができる

環境確認シート

差込資料⑤

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・指差し・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていきますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものですか	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものですか	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

強み(ストレングス)確認シート

本人の得意なこと、できること
などを確認するためのシート

具体的な支援を組み立てるとき
にヒントとなる

強み(ストレングス)確認シート

差込資料⑥

本人の強み(ストレングス)	活かせそうな場面や状況
わかること・できること 例) なくなったら 終わり、ペットボトルのふたを 開ける ハサミを使うのが上手 など	
好きなこと(遊び方、過ごし方、キャラクターなど) やりたがること 例) ハンモックで 揺れる ○○のキャラクター ピッタリはまる 色を合わせる	
得意なこと(これには助けられているなど) 見方を変えれば 得意かもしれないこと 例) 目的がわかれば 待つことができる 変更は苦手だがいつもと 同じ ことはできる	
その他	

ii) 事例の紹介

名前：田中正則（たなかまさのり）さん(仮名)

年齢：32歳 性別：男性

診断名：自閉スペクトラム症 重度知的障害 IQ:30

利用しているサービス：共同生活援助・生活介護・
行動援護

IQについて振り返りましょう

軽度	IQ 50-69
成人期においてその精神年齢は概ね9歳から12歳相当	
中度	IQ35-49
成人期においてその精神年齢は概ね6歳から9歳相当	
重度	IQ20-34
成人期においてその精神年齢は概ね3歳から6歳相当	
最重度	IQ 20未満
成人期においてその精神年齢は概ね3歳未満	

※軽度、中度、重度、最重度の区分はICD-10による。

田中さんは、グループホームに住む重度知的障害を伴う、自閉スペクトラム症の男性です。

平日はグループホームから生活介護事業所に通い、休日は、ときどき行動援護でヘルパーさんと外出しています。

田中さんの普段の行動には、様々な自閉スペクトラム症の特性が現れています。

※「田中さんの基本情報」参照

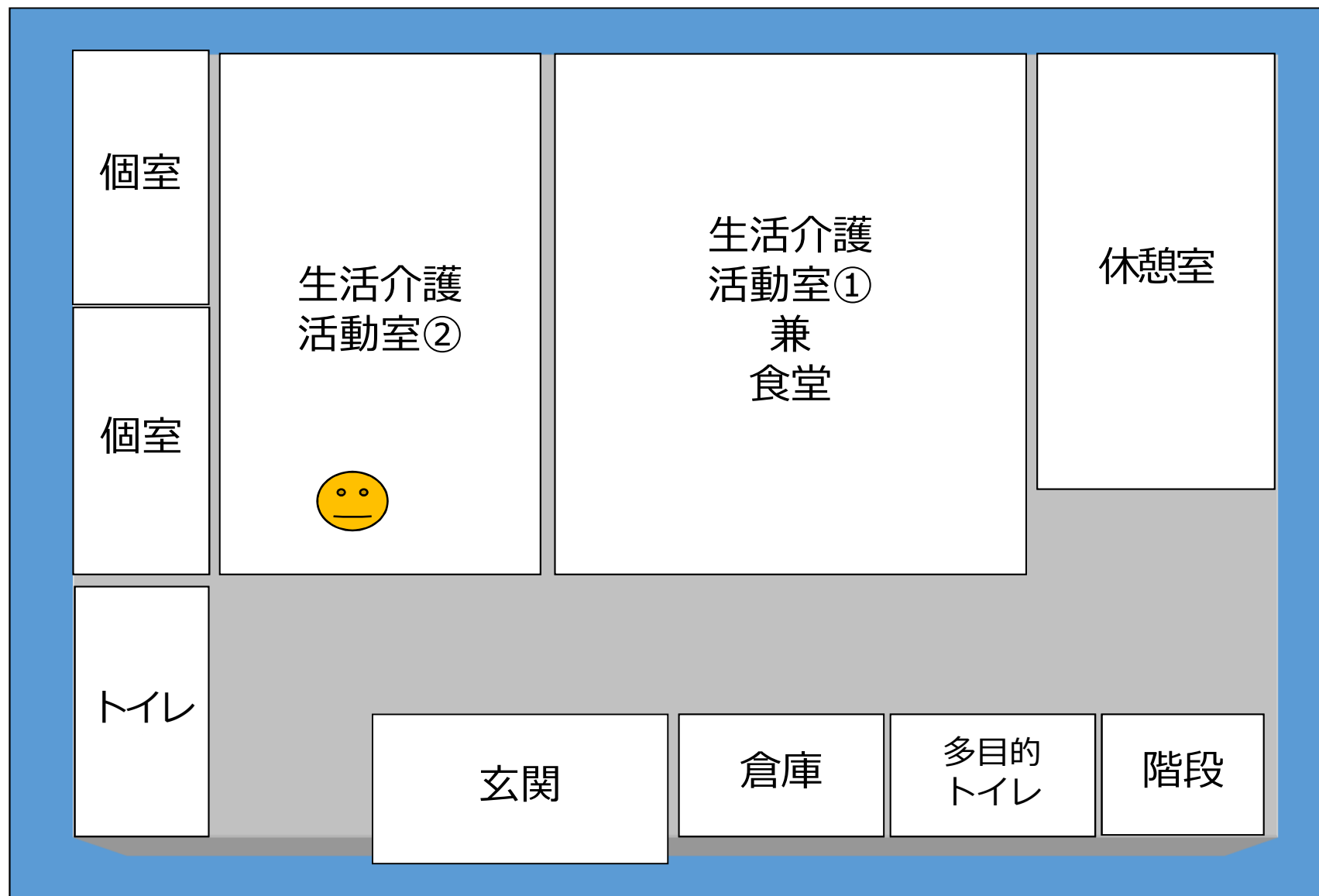
田中さんの活動場面

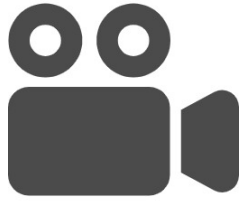
ある平日の午前中の生活介護事業所での様子です。
作業をやることになっていますが、田中さんは午後からのお出かけのことが気になっています。

担当している職員は、田中さんに作業をしてもらうために、懸命に声をかけて作業をするように促しています。

しかし、田中さんはお出かけのことが気になり、作業どころではないようです・・・。

生活介護事業所の中の配置図





動画の視聴

iii) 本人の行動を確認する

行動を見る視点の大切さ

- 行動障害のある人たちは、自分の気持ちをうまく訴えられない特性があります。
- うまく訴えられない人たちのことを理解するためには、行動が手がかりになります。
- 行動をきちんと観察することで、本人の訴えたいことだけでなく、障害の特性を理解することにもつながります。
- まずは、生活介護事業所での田中さんの具体的な行動を確認していきましょう。

行動に注目する

「行動チェックシート」を使って、田中さんの行動を確認します。

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない		
		イ: 人との関わりが一面的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない		
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする		
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコリア）		
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす		
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない		
		ツ: 予定の変更で混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある		
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある		
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感していないような行動がある		
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

個人ワーク | 行動に注目する

1. 行動チェックシートで生活介護事業所での田中さんの行動を確認します。

社会性の特性

社会性の特性について、田中さんの行動に現れているところを確認してみましょう。

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	<input type="checkbox"/>	
		イ: 人との関わりが一面的であることが多い	<input type="checkbox"/>	
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	<input type="checkbox"/>	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない	<input type="checkbox"/>	
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	<input type="checkbox"/>	
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	<input type="checkbox"/>	

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	<input type="checkbox"/>	
		イ: 人との関わりが一面的であることが多い	<input type="checkbox"/>	
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	<input type="checkbox"/>	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない	<input type="checkbox"/>	
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	<input type="checkbox"/>	
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	<input type="checkbox"/>	
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示されたことと違うことをする	<input type="checkbox"/>	
		ク: 相手の言葉をそのまま繰り返す (エコーリア)	<input type="checkbox"/>	
		コ: 行動や仕事などで自分の気持ちを現わす	<input type="checkbox"/>	
	興味が難しい	ケ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない	<input type="checkbox"/>	
		キ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	<input type="checkbox"/>	
		ク: やりとりが続かない	<input type="checkbox"/>	
想像力	自分や予定を立てることが難しい	セ: やりとりが続かない	<input type="checkbox"/>	
		ソ: 予定が変更されると混乱することが多い	<input type="checkbox"/>	
		タ: 目標が変更されると混乱することが多い	<input type="checkbox"/>	
	物や一部に対する強い興味	チ: 活動が途中でやめたり、変更することができない	<input type="checkbox"/>	
		テ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	<input type="checkbox"/>	
		ト: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	<input type="checkbox"/>	
感覚	感覚が敏感または鈍感	ツ: 何かによって気がついて行動がある	<input type="checkbox"/>	
		チ: 新しい音、臭い、味を好み、同じものの繰り返しを嫌う	<input type="checkbox"/>	
		テ: 特定の音、臭い、味を嫌う、同じものを嫌う	<input type="checkbox"/>	
	物や一部に対する強い興味	テ: 特定の音、臭い、味を嫌う、同じものを嫌う	<input type="checkbox"/>	
		ト: 特定の音、臭い、味を嫌う、同じものを嫌う	<input type="checkbox"/>	
		チ: 特定の音、臭い、味を嫌う、同じものを嫌う	<input type="checkbox"/>	

例えば、このような行動に注目します

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	
		イ: 人との関わりが一方向的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	✓	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		

チェックが入っているところに本人の具体的な行動を書き込んでみましょう



行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	支援者が話しかけても支援者の方を向かない
		イ: 人との関わりが一方向的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	✓	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		

コミュニケーションの特性

コミュニケーションの特性について、田中さんの行動に現れているところを確認してみましょう。

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない		
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする		
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す (エコーリア)		
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす		
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		

行動子チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	状況の理解が難しい	ア: 視線が合わない		
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
		エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
コミュニケーション	理解が難しい	カ: 言葉で指示をしても行動できない		
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする		
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す (エコーリア)		
		コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす		
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
関係力	自分ですべてを立てるのが難しい	シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
		ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
		タ: やることがおどおどしている、じっとしている		
感情	感情が伝わりづらい	チ: 自分から動くことができない		
		ツ: 予定の放棄に抵抗することが多い		
		テ: 自分のルールを変えようと抵抗することが多い		
		ト: 目標が変更されると悲観することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		

例えば、このような行動に注目します

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ヨ ン	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す (エコリア)	✓	
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		

チェックが入っているところに本人の具体的な行動を書き込んでみましょう



行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動	
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ヨ ン	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓		
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓		
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す (エコラリア)	✓		
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓		
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない			
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓		
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない			
		セ: やりとりが続かない			
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある			

例えば、このような行動に注目します

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない	✓	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	✓	
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		

チェックが入っているところに本人の具体的な行動を書き込んでみましょう



行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない	✓	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	✓	
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		

感覚の特性

感覚の特性について、田中さんの行動に現れているところを確認してみましょう。

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
感覚	感覚が敏感または鈍感	リ:		
		ハ:		
		ヒ:		
		フ:		
		ヘ:		
		ホ:		

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア:		
		イ:		
		ウ:		
状況の理解が難しい	状況の理解が難しい	エ:		
		オ:		
		カ:		
コミュニケーション	理解が難しい	キ:		
		ク:		
		ケ:		
	取扱いが難しい	コ:		
		ク:		
		シ:		
セ:				
組織力	自分で予定を立てることが難しい	ジ:		
		チ:		
		ツ:		
	変化への対応が難しい	テ:		
		ト:		
		ナ:		
物の一部に対する強い興味	ニ:			
	ヌ:			
	ネ:			
感覚	感覚が敏感または鈍感	リ:		
		ハ:		
		ヒ:		
		フ:		
		ヘ:		
		ホ:		

例えば、このような行動に注目します

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
感 覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

チェックが入っているところに本人の具体的な行動を書き込んでみましょう



行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
感 覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

行動に注目するということ

- この後の演習では、「作業中に自傷をする」という田中さんの行動について、その背景を探っていき、必要なサポートを整理したうえで、田中さんに合った支援の手順書を作っていきます。
- しかし、支援を組み立てるためには、自傷することだけに注目するのではなく、田中さんがさまざまな苦手さをもっていることに気づくことが大切です。
- 検討すべき行動を探すためだけではなく、本人の特性に気づくためにも客観的な観察（アセスメント）が必要です。